北海道情報専門学校

学校関係者評価報告書（平成２８年度）

平成 28 年度の学校評価委員会を開催し、「北海道情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：平成２８年８月２５日（木）

学校関係者評価委員：
有識者委員１名、企業委員１名、卒業生委員２名、地域住民委員１名（計 5 名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
⑴教育理念・目標 教育理念・人材育成目標ともに、内部でしっかりと定められている。	
⑵学校運営 学校間の意志決定や情報連携に対する、改善の取り組みがみられるが、地域の特性を生かした運営にも期待する。	グループとしての標準化だけではなく、地域の特性を生かした学校運営をもっとアピールすることを検討してほしい。
⑶教育活動 カリキュラム検討委員会などを実施することで、現状の学生・社会ニーズを捉え、新たな科目にも取り組んでいることは高く評価できる。学生の評価も踏まえ、引き続き推進していくことを期待する。	
⑷学修成果 在校生に対する資格と就職 及び 退学防止に対する取り組みは、自信を持って取り組んでおり高く評価できる。	卒業生に対する取り組みが依然弱く、学校創立 50 周年記念へ向けた準備を契機に、積極的に同窓会活動を推進してほしい。
⑸学生支援 十分な支援がなされており、特に目立った改善項目はない。	
⑹教育環境 学生ホールなどの整備も出来ている。防災面では都市部で学生数も多い事から、自営消防隊を組織していることも評価できる。	防災の意識を高めるために、定期的に学生に対し避難訓練を実施してほしい。

(7)学生の受入れ募集 全体的には、よく取組んでおり問題はない。	
(8)財務 これだけの設備を維持しながら財務基盤が安定しているということは、健全な学校経営をしている証拠であり、安心できる学校と感じた。	
(9)法令等の遵守 全体的には、よく取組んでおり問題はない。	昨年同様に、良い取り組みをしており、それらをもっと対外的にアピールしても良いのではないか。
(10)社会貢献・地域貢献 地域住民に向けたイベントも定着してきている。社会貢献・地域貢献での評価には時間がかかるが、今後も積極的な活動を期待する。	町内会活動として、学生のような若い世代の意見を取り入れた活動も実施して行きたいため、学生との意見交換の場を設けてもらいたい。

以上